

Q. 精米袋や炊飯後の食缶に写真のような異物がありました。これは何でしょうか？

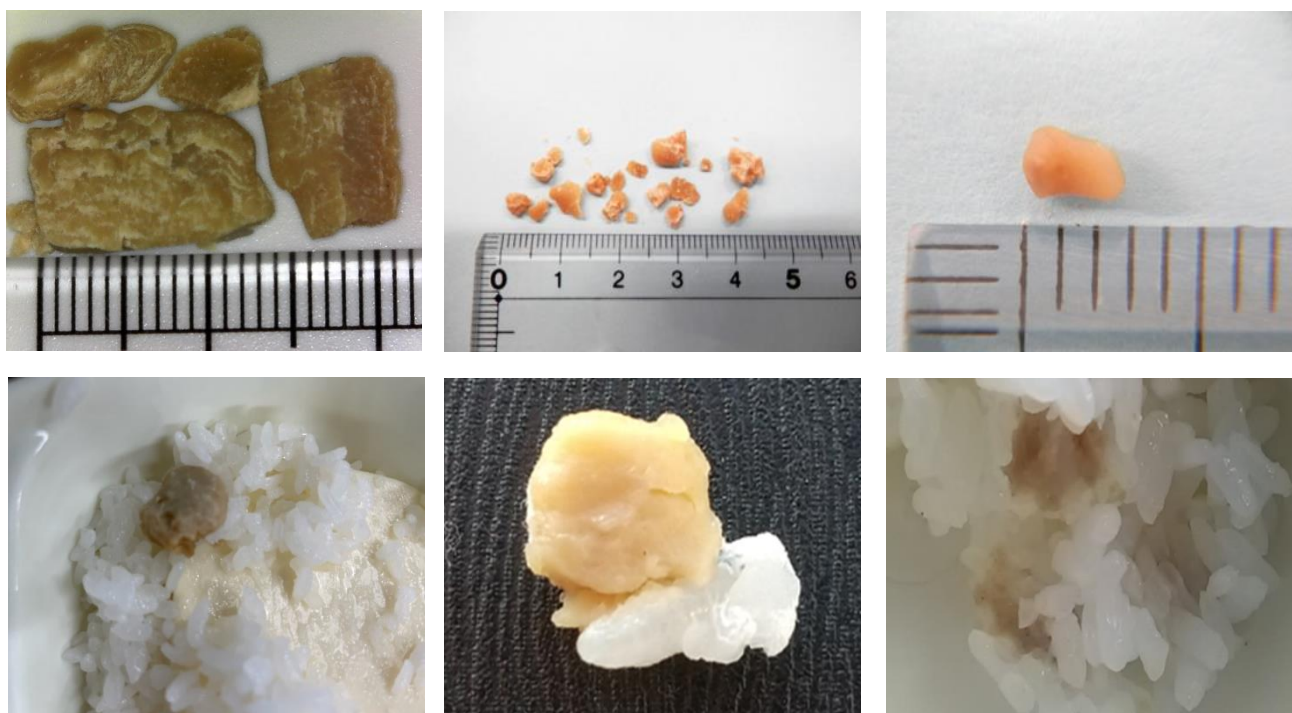
A. これは糠玉（ぬか玉）です。

ぬか玉は、搗精工場（精米工場）で必ず発生するもので、ぬかが溜まり固まったもので大きさは様々あります。精米の表面には「ぬか層」を含んでおり、精米工程中、「ぬか層」が製造ライン上に徐々に付着し、固まり（ぬか玉）が生じます。この固まりが発生し易い箇所はラインの継ぎ目・角・構造上の問題で急にラインの幅が狭くなっている場所に多く、とくに精米直後で米がまだ温かく熱をもっている段階では米ぬかに水分が多く含まれているため、それが冷めた時は固まる可能性が非常に高くなります。清掃によって一定量のぬか玉は低減できますが、完全に除去することは困難です。また、梅雨時期はぬか玉の発生しやすい時期でもあります。一般的にぬか玉を見る機会がほとんどないことから、特に米粒と同様の大きさは、ぬか玉と判断することが難しい状況です。

ぬか玉は力を加えると指で簡単につぶすことができ、水に入れると吸水を始めて、しばらくすると膨張したり、色が薄くなるなど形や色に変化が見られます。また、ヨウ素液に注すとでん粉（アミロース）が反応し、紫色に染色されます。

無洗米は洗米をしないので、炊飯後にぬか玉が残っている場合が稀にあります。万が一、喫食された場合でも人体に影響はありません。

【ぬか玉の例】



▲実際に配膳後に発見されたぬか玉